

# 特色ある 社会教育事業

続いて、新冠町の特色ある社会教育事業についてです。  
社会教育事業は、各町それぞれで地域の素材を活かして進められています。が、当町でも、「レコード」や「音楽」に関する取り組みを多数実施しておりますので、その具体的な内容について紹介します。

## 昭和音楽大学交流事業

町では、質の高い音楽文化に触れる機会をつくるため、全国的にも有名な神奈川県にある昭和音楽大学との交流事業を行っています。

大学とは、主に3つの事業提携を行っており、その1つが音大講師が新冠中吹奏楽部に技術指導を行う吹奏楽クリニックです。

このクリニックは、吹奏楽コンクールやコンサート前に音大講師が来町し吹奏楽部に直接指導するもので、ここ数年は、吹奏楽部の顧問の先生や部員の頑張りもあり、コンクールで優秀な成績を収めています。

# 地域との 連携

レ・コード館は、新冠町の文化活動の拠点として、多くのサークルに活用されており、

教育委員会では、これら自主活動のサポートのほか、町内外の施設など、地域の皆さんと協力・連携した取り組みを行っております。

今月の特集記事の最後に、レ・コード館と特につながりの深い団体を紹介させていただきます。

## 新冠町文化協会

新冠町文化協会は、町の芸術文化の振興を目的に、昭和44年に設立された団体で、現在、40団体が加盟しています。

レ・コード館は、文化協会の事務局のサポートやイベントを開く際の運営協力などを行っています。

文化協会の主な事業は、毎年10月に町民ホールで開かれる芸術発表会と総合作品展で、これらは、文化サークルの練習の成果を披露することや、作り上げた作品を発表する機会となっています。

2つ目は、パートナーシップコンサートに合わせ開いている音大生によるアウトリーチコンサートです。  
このコンサートのコンセプトは、子どもたちに「生」の音楽を届けたいというもので、音大生が小中学校で約1時間の演奏会を開いています。コンサートは、有名なクラシック音楽に加え、ディズニーの主題歌などで、子どもでも親しみやすい内容となっています。



アウトリーチコンサート

連携事業3つ目は、音大生のほか、町内の音楽団体や新冠中吹奏楽部が出演するパートナーシップコンサートです。

このコンサートは、毎年2月にレ・コード館で行われ、内容は、声楽や木管、金管楽器の演奏などバラエティにとんでおり、フアンの多いコンサートとなっています。

約15年続くこの昭和音楽大学との交流事業は、これまでも、子どもたちが作詞作曲やレコーディングを体験した音楽創造体験事業や、こども園の先生を対象に音楽療法の視点を活かしたりリズムの指導などを行ってきました。

文化協会には、毎年レ・コード館で定期公演を行っている団体がありますので、その中から2つの団体をピックアップして紹介します。

## 「市民劇団ど・こゝれ新冠」

劇団ど・こゝれは、平成9年レ・コード館の柿落として行われたオリジナルミュージカル「飛翔」の参加者が集まり組織された劇団です。

開館以来、20年にわたり毎年12月に定期公演を開いており、基礎的な練習や発表という劇団の活動を通して、青少年の健全育成にも貢献しています。

## 「合唱団V.O.I(ヴォール)」

合唱団ヴォールは、レ・コード館の柿落としてのミュージカルで「合唱」に参加した人々が集まり結成した合唱サークルで、平成18年から毎年11月に定期コンサートを開いています。

演目は、童謡や歌謡曲、アニメソングやピアノ演奏など盛りだくさんの内容で、この公演を楽しみにしている方も多くいます。



合唱団 Vol コンサート

楽器体験講座とジュニアジャズバンド  
トランペットやサクソフーン、ドラムといった楽器は、中学校に入ると吹奏楽部などで練習することができますが、教育委員会では、もっと気軽に音楽に触れて欲しいと小学3年生以上の児童を対象とした楽器体験講座を開いています。

指導は、地元で40年以上演奏活動を続けている軽音楽愛好会ブルーホースの皆さんで、楽器の持ち方から音の出し方、合奏の仕方など、参加者一人ひとりに丁寧に指導をしてくれます。  
社会教育事業を進めるうえで、このような地域のサポートは必要不可欠で、貴重な応援団となっています。



楽器体験講座

またレ・コード館には、レ・コード館ジュニアジャズバンドという小中学生のメンバーからなるビックバンドジャズのバンドがあり、楽器体験事業の卒業生がより本格的に音楽を学べるようにと、平成16年に結成されました。  
ジャズバンドの活動で大切にしていることは、演奏技術の向上はもちろんのこと、一人ひとりが自分の譜面を持つ

ほかにも、文化協会の各団体は、展示会や販売会、発表会などを開いており、レ・コード館も事業に全面的に協力を行い、より良い催しとなるようサポートをしています。

NPO法人レ・コード館自主企画委員会  
レ・コード館と同様、20年の歴史がある自主企画委員会は、毎年色々なジャンルの演奏会を企画しており、この20年間で企画したコンサートは、大小合わせて約150本にのぼります。

自主企画委員会では、出演者の選定から、チケット販売、会場設営、来場者の対応、舞台の撤収作業に至るまで、一連の作業を担当しています。

自主企画委員会が定期的にイベントを企画することで、レ・コード館も活気が出て、地域の方も色々なアーティストの公演を見ることが出来ます。

レ・コード館としては、今後も自主企画委員会と連携しながら、魅力あるイベントやコンサートを開いていきたいと考えています。



自主企画委員会のコンサート

ち演奏することで培われる責任感と、メンバー全員で音を合わせていく協調性を養っていくことで、ジャズの活動を通して青少年の健全育成を図ることを目的としています。



ジュニアジャズバンド定期演奏会

## レコードコンサート

レ・コード館に寄贈されたレコードは、平成29年5月で100万枚となりましたが、レ・コード館では、この全国から寄贈されたレコードの保存を行うとともに、地域の方々に、レコード鑑賞機会の提供とレコードの魅力を伝える場所にと、毎月第3水曜日にレコードコンサートを開いています。

このレコードコンサートは、レ・コード館の心臓部ともいえるレ・コードホールで行なわれています。

## 出張レコードコンサート

レ・コード館では、100万枚のレコードを活用した毎月のレコードコンサートのほかに、レコードの音を届ける出張レコードコンサートを町内外で開催しています。

町内では、12月6日、エジソンが蓄音機を発明した「音の日」にあわせて、老人ホームなどの福祉施設を訪問してレコードコンサートを開いており、日頃レ・コード館に足を運びづらい人にも懐かしいレコードの音楽を楽しんでいただいています。

また、町外では、札幌市中央区の札幌市資料館などで出張レコードコンサートを開いており、寄贈いただいたレコードの活用とレ・コード館のPRを目的に、レコードの音を届けています。

来月はレ・コード館事業や社会教育事業で関わりがある方々と、「レ・コード館についての座談会」の様子をご紹介します。  
レ・コード館の魅力や価値などについてお話を聞く予定とさせていただきますので楽しみに。